

平成 29 年 5 月 15 日

NEWS RELEASE

リファインバース株式会社

新規技術開発および事業展開について

リファインバースグループは、自動車用エアバッグの製造工程で発生する基布端材をリサイクルする技術を開発し、樹脂原料として自動車部品等への再利用を進めるリサイクルの事業化を進めてまいります。

エアバッグ基布には、使用される部位に応じて、ナイロン 66 製の布単体で構成されるもの（ノンコート布）と、ナイロン布表面にシリコン等を塗工したもの（コート布）があります。ノンコート布のリサイクルについては従来から実用化されていますが、コート布から高純度のナイロン樹脂のみを取り出すリサイクルについては極めて難しくほとんど取り組まれていませんでした。

このたびリファインバース社が開発した技術は、コート布のナイロン部とシリコン部を高精度で分離し、マテリアルリサイクルする技術です。コート布のリサイクル法については、これまで様々な技術が検討されてきましたが、当社が開発した技術は従来技術よりも高い精度（異物混入率 1%未満）でナイロン部とシリコン部の分離を実現する画期的な技術となります。

分離したナイロン部は一旦ペレット状等に加工した後、顧客の要望に応じた機能を付加し、成形用材料として自動車部品や建設資材など様々な用途向けに供給する計画です。

今後段階的に事業化を進めることを計画しており、2017 年度中にエアバッグの製造過程で発生する端材（プレコンシューマー材）のリサイクルから開始し、将来的には廃車から排出される廃エアバッグ（ポストコンシューマー材）へと事業規模の拡大を目指してまいります。

本事業については住友商事(株)との協業により、まず住友商事(株)子会社の住商エアバッグ・システムズ(株)の工場から排出される端材のリサイクルから事業化を推進し、住友商事(株)の有するグローバルネットワークを活用しながら順次拡大していくことを目指しています。

更なる循環型社会形成の必要性が認識される中、本事業を、国内外のサプライヤーと連携し、リサイクル素材が自動車の部品等に採用されることにより、省枯渇性資源を図り、資源利用効率性を最大限にする新たな社会の持続的発展モデルへとつなげてまいります。

以上

お問合せ：経営管理部 大谷
電話：03-5643-7890